



熊本県立かもと稲田支援学校 かもいな進路だより

熊本県立かもと稲田支援学校
令和8年7月22日（水）発行
進路指導部

1学期が終わり、いよいよ明日から夏休みが始まります。夏休みは、規則正しい生活リズムを保つことや、家事（お手伝い）などに取り組むことが、毎日の生活を充実させる上で大切になります。児童・生徒一人一人が、自分なりの目標を立て、充実した夏休みを過ごしてほしいと願っています。

さて、保護者の皆様には、日頃より本校のキャリア教育の推進に御理解と御協力をいただき、心より感謝申し上げます。進路指導部では、「かもいな進路だより」をとおして、本校の進路に関する取組や福祉サービス、企業・就労に関する情報などを分かりやすくお伝えしてまいります。ぜひ御家庭でお子様と一緒に御覧いただき、進路について考える機会として御活用いただければ幸いです。

令和7年度高等部卒業生（昨年度高等部卒業生）進路先一覧

①	社会福祉法人菊愛会すまいる 社会福祉法人菊愛会ほほえみ	生活介護 ※2ヶ所を併用利用
②	株式会社くまさんメディクス	一般事業所
③	JR九州パレットワーク株式会社	一般事業所
④	ニシヨリ株式会社	一般事業所
⑤	社会福祉法人ぎんなん会山鹿 障害福祉サービス事業所 鹿央の郷	自立訓練
⑥	社会福祉法人 宥明会 もくせい学園 社会福祉法人青いりんごの会 銀河ステーション	生活介護 ※2ヶ所を併用利用
⑦	社会福祉法人友朋会 Sunnyside	B型事業所
⑧	就労継続支援 A 型事業所 たまむすび	A型事業所
⑨	合同会社 とまり木	A型事業所
⑩⑪	就労継続支援 A 型 B 型事業所 おりいぶA型B型に各1人	A型、B型事業所
⑫⑬	就労支援 B 型作業所アースフル 2人	B型事業所
⑭	株式会社 熊本チキン	一般事業所
⑮	熊本県あかね荘	自立訓練
⑯	就労支援センター一歩	A型事業所
⑰	熊本職業リハビリテーション人材センター	B型事業所

かもと稲田支援学校を巣立った先輩たちの進路先をご紹介します。

高等部では、一人一人の生徒が「自分らしく笑顔で過ごせる場所」「自分の力を発揮して活躍できる場所」を見つけるため、現場実習を重ねて様々な経験を積んできました。その積み重ねを通して、自分に合った進路を選択し、それぞれの進路先へと羽ばたいています。

進路指導部では、これからも在校生一人一人の「こんな未来を歩みたい」という思いを大切にしながら、児童・生徒や保護者の皆様とともに進路について考え、支援してまいります。今後もPTA 進路研修会（9月10日（木）予定）などをとおして、進路に関する情報をお伝えしていきます。

なお、各事業所の詳細については、山鹿市ホームページ「【障がい者支援】山鹿市就労継続支援事業所一覧」に掲載されています。また、山鹿市では「令和8年度山鹿市障がい児就労見学ツアー」も予定されていますので、ぜひ御確認いただき、進路選択の参考として御活用ください。

高等部で企業向けオープンスクールを開催しました。

7月9日(木)午前9時30分から、高等部事業所向けオープンスクールを開催しました。当日は、生活介護事業所5事業所、就労継続支援A型事業所5事業所、就労継続支援B型事業所8事業所、一般企業5社の合計23事業所から29名の皆様に御参加いただき、高等部の作業学習の様子を参観していただきました。

現場実習では実習生としての姿を見ていただいておりますが、今回は学校で日頃取り組んでいる作業学習の参観をとおして、生徒同士で協力しながら活動する姿を御覧いただきました。

参観後には、多くの温かい御感想をいただきましたので、その一部を御紹介します。

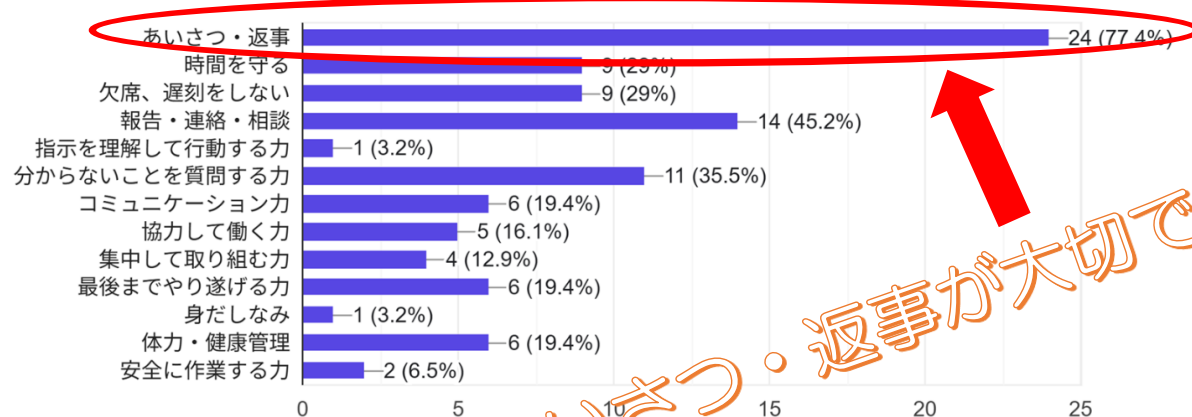
- ・笑顔が多く見られて雰囲気も良く感じられた。みんな元気！
- ・皆さん、真剣に作業に取りかかっていらっしゃったのが、印象的でした。集中力が続かないことが多いですが、しっかりと作業に取り組んでいることに驚きました。
- ・明るい生徒さんが多かったです。
- ・総合サービス班は清掃中心に検定などもあり、卒業後の即戦力になる仕組みは素晴らしいと思いました。

今後も、地域の事業所や企業の皆様との連携を大切にしながら、生徒一人一人の進路実現につながる教育活動を進めてまいります。

参加者へのアンケート調査を行いました。「就労する上で特に必要だと思う力」は？

就労する上で特に必要だと思う力を選んでください。(3つ)

31件の回答



あいさつ・返事が大切ですね！

コラム

進路について考えるとき、できることを増やすことや働く力を身に付けることに目が向がちですが、職場や地域で長く信頼される人に共通しているのは、「ありがとうございます」と自然に伝えられることです。感謝の言葉は、どの場面でも人との信頼関係を築き、自分も相手も気持ちよく過ごせる雰囲気をつくれます。家庭では家族へ、学校では友達や先生へ、「ありがとう」を意識して伝える環境をつくっていききたいものです。その積み重ねは、思いやりの心を育て、将来社会の中で安心して生活し、働いていくための大切な力につながります。小さな感謝を、今日から一つずつ増やしていきたいですね。

7つの習慣 Robert A. Emmons 『The Little Book of Gratitude』(2016) より

感謝